

「陪審裁判を考える会」9月29日例会のご案内

皆さま、「陪審裁判を考える会」は30年以上前から司法への市民参加を実現することを目指してきました。日本には、先の太平洋戦争前には陪審制度が実施されていましたが、現在に至るまで停止されています。

現在実施されている裁判員制度も市民参加制度ではありますが、裁判官と市民が一緒になって評議をする点で、市民のみで評議する陪審制度とは異なり、市民性という点では大きな違いがあると考えます。

来年にはこの裁判員制度も10年目の節目を迎えます。この機会に裁判員制度の現状を検証し、併せて法曹一元制度や陪審制度と比較する集会を企画しました。

勿論無料ですので、気楽にご参加頂ければ幸いです。

なお、少なくとも例会中は「先生」禁止で「さん」と言う決まりがあります。これは自由な討論を目指すためですので、ご協力をお願い致します。

記

日時： 2018年9月29日（土）18時15分～21時00分
（開場は18時00分）

会場： 青山学院大学（メトロ丸ノ内線・赤坂見附乗換え→銀座線・表参道下車→B1出口から徒歩5分：記念館門から入構→裏面にキャンパスマップ）

17号館 10階 ディスカッションルーム

先着30名様迄とさせていただきますので、宜しくお願い致します。

話題提供者：（一社）共同通信社 編集委員兼論説委員 竹田昌弘さん

テーマ：「検証・裁判員裁判」

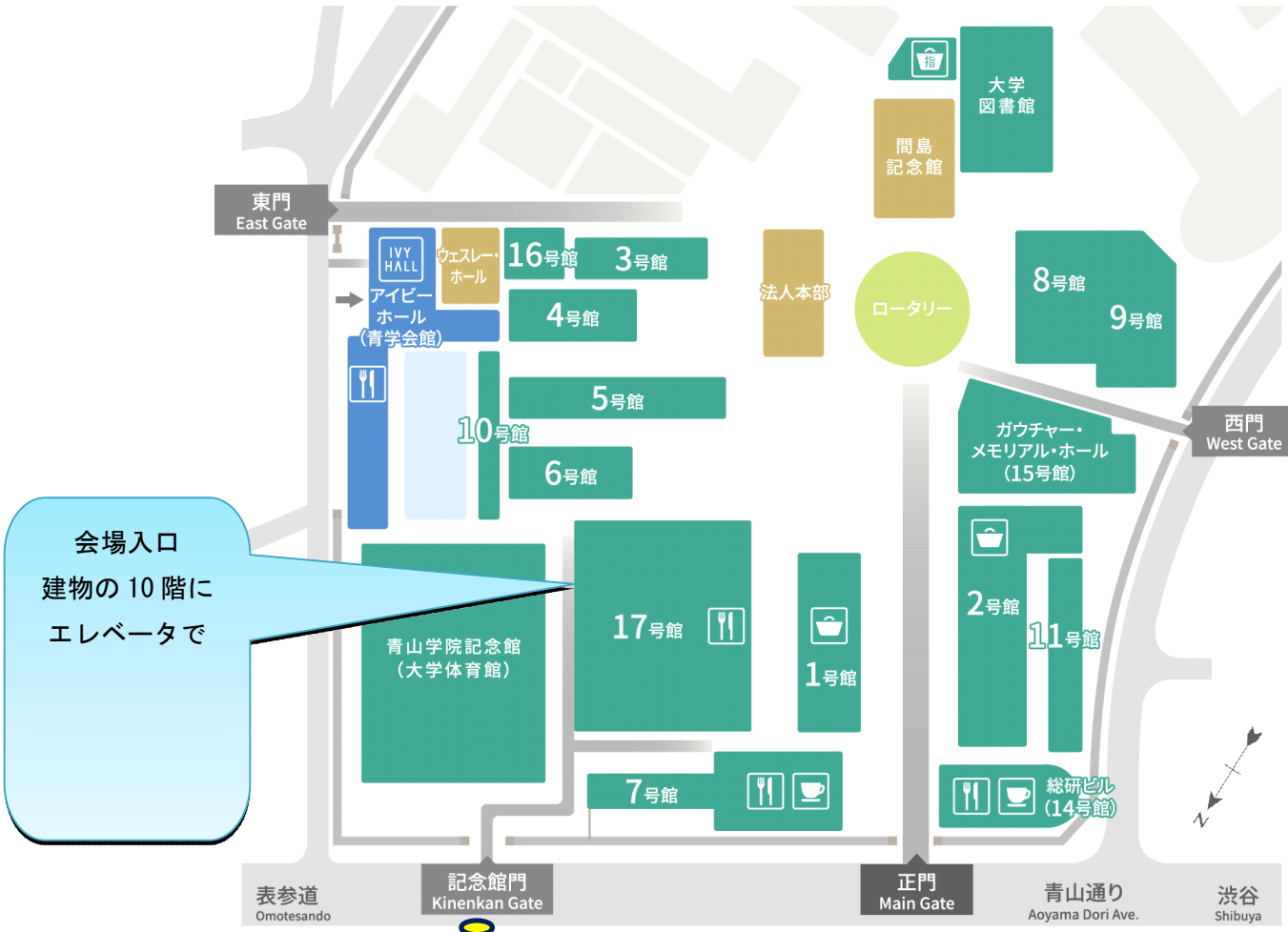
情報豊富な竹田さんが、約90分歯切れよく現状分析をします。

その後、法曹一元や陪審制度との比較検討等について、全体討論。

閉会：陪審裁判を考える会代表 青山学院大学名誉教授 新倉 修 さん

問い合わせ先：陪審裁判を考える会

事務局 滝田 清暉



こちらから入構できます